

## 自分の歯と口の健康に関心を持ち、自己管理能力を育むことができる児童の育成

学校教育目標「笑顔あふれ 学び 高め 支え合う児童の育成」のもと、全校児童31名という小規模校の特徴を生かし、家庭や学校歯科医と連携しながら、学校教育活動全体を通じて、歯と口の健康づくりに取り組んでいます。



### 自分の歯・口の健康状態を知る・考える・振り返る

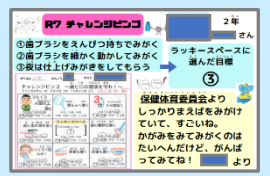
#### ○歯と口の健康教育

- ・健診エリアと歯科衛生士による個別歯みがき指導エリアを設けた歯科健康診断
- ・各発達段階に応じた6年間の歯科保健教育
  - 1年:授業参観時に親子で学習、6年:全校小学生歯みがき大会参加
- ・鏡や歯みがき動画を使った給食後の3分間歯みがきの継続
- ・“よく噛むこと”を意識した希望献立の作成(栄養教諭と連携)



#### ○児童会活動

- ・保健体育委員会
  - 歯と口の健康週間に合わせたチャレンジビンゴの実施や標語募集、歯ブラシ点検オリジナルマスコットの作成、歯と口のケガ予防に関する集会、けがマップの作成、
- ・図書美化委員会
  - 歯に関する絵本を題材にした集会、歯と口の健康に関する本の紹介コーナー設置



#### ○専門家との連携

- ・児童や保護者の歯と口の健康に関する疑問や課題に対する歯科校医の健康相談
- ・「噛む」ための基礎づくりとして、全児童を対象とした理学療法士による姿勢チェック



### 自己管理に向けて

#### ○家庭との連携

- ・歯科保健活動の取組について、学校だよりや学年だより、ほけんだよりで発信
- ・夏期休業中の親子染め出しチェックと生活習慣チェック
- ・冬季休業中の生活習慣チェック

#### ○姿勢指導

- ・姿勢カードの作成・・・しっかり噛んで食事をするために、日常の姿勢づくりを見直す
  - 個人カードに「良い姿勢の自分の写真」「良い姿勢で書いた名前」を掲載して可視化し、授業開始・終了時のあいさつで“良い姿勢”を意識させる
  - 歯みがきの自己目標、および、自席でおこなう安全な歯みがきを意識させる
- ・業間活動を活用した冬期のなわとびや、ジャンプ体操による体幹づくり



### 教職員の学びの機会

#### ○歯と口の健康づくり推進委員会

- ・学校、保護者、学校歯科医、小学校区保育所職員で本校の実態や課題、取組について協議



#### ○講師を招聘した学習会

- ・特別支援学校職員による「食と姿勢の関係について」
- ・県教委保健体育課指導主事による「健康教育の進め方」

